

かざま うら

議会だより

謹賀新年



二見岩（下風呂いさり火公園）

No. 110

令和5年1月発行

■発行：青森県風間浦村議会
■編集：議会広報編集委員会
〒039-4502 青森県下北郡
風間浦村大字易国間字大川目28-5
TEL 0175-35-2115
FAX 0175-35-2403

目次

- 議長・副議長年頭挨拶・・・P2
- 定例会のあらまし・・・P4
- 全協・各種委員会報告・・・P6
 - 総務常任委員会
 - 議会運営委員会
 - 全員協議会
 - 役場及び消防庁舎建設に係る特別委員会
 - 大間原子力発電所対策特別委員会
- 一般質問・・・P11
- 議会活動・・・P14
- ちょっと一言・編集後記・・・P16

年頭にあたり



風間浦村議会

議長 杉山 太

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年を健やかに迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、村議会を代表いたしまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、村議会への深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が流行し、丸三年になります。医療従事者の皆様、感染拡大防止に努めておられる関係者の皆様に、心より敬意と感謝をいたします。一日も早い収束を願うところでございます。

さて、長引くコロナ禍や円安、昨年二月に始まったロシアのウクライナへの侵攻により、物価の高騰や物不足、さらには石油、ガス、電気等のエネルギーにも深刻な影響

を及ぼしております。

村では、村民の皆様の生活が大きく変化しないように、国からの予算を活用し様々な施策を講じております。その効果に期待するところでございます。

また、本村につきましては、一昨年の八月に発生しました災害からの完全な復旧、復興には、今しばらく時間を要する現状でもあり、特に、大きな影響がありました漁業と観光業におきましては、長引くスルメイカの不漁に加え、燃油代の価格高騰が追い打ちをかけ、大変厳しい状況と認識しております。

このような中におきまして、明るい兆しも見えております。蛇浦地区でのコンブの回復は、磯焼けが徐々に解消に進むことに期待をし、アワビ、ウニ漁の豊漁や、現在取り組んでおります『つくり育てる漁業』

の成功にもつながり、村全体の漁業振興に波及していきますよう切に願うところでございます。

また、観光業におきましては、各種キャンペーンにより観光客が増えつつありますが、風間浦村自慢の海産物や温泉をお目当てに、コロナ禍以前のように大勢の観光客の皆様が村を訪れてくださいますように、一日も早いコロナの収束を切に願うところでございます。

その他にも、医療、福祉、教育、防災、地域コミュニティ等の各分野においても、多様な影響があると感じております。

私も村議会といたしましては、様々な村の課題に対し現状の問題点や改善点の調査、研究に努め、皆様方と一層の連携強化を図りながら、その声を行政に届け政策の提案や事業の推進、検証に取り組んで参ります。

皆様の一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

結びに、風間浦村にとりまして新しい年が活気に溢れ、皆様笑顔で暮らせる素晴らしい年になりますよう、心よりご祈念いたします新年のご挨拶いたします。



年頭のあいさつ

風間浦村議会

副議長

中嶋 茂

議員 北館 智明

議員一同、

皆様のご多幸を

心よりお祈り

申し上げます。

明けましておめでとうございます。

村民の皆様には、健康で希望に満ちた新春をお迎えられましたことに、心からお慶び申し上げます。また、常日頃より村議会に対して深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻が続いている中で、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、物価高騰や特に燃油価格の高騰により、厳しい経済状況が続いております。一日も早く、以前のような暮らしが戻りますよう、心から願うところでございます。

本村の基幹産業である漁業と観光は、数年続くスルメイカの不漁、また観光客の減少等により、関係者の皆様におかれましては、大変厳しい生活をされていると思えます。

本年こそは、村全体の漁獲量が一日も早く回復し、漁業者の皆様が活気に満ちた年になりますよう切に願うところであります。

観光においては、桑畑温泉、下風呂温泉が皆様に愛され、交流人口が増加することにより、観光振興に大いに寄与されることを期待するところであります。

村にとって、「空き家対策」「少子高齢化対策」「若者世代の定住対策」等の課題が山積しております。これからも、皆様の意見を糧とし村政課題の解決に向け、行政と議会が一体となり取り組んで参ります。

結びに、風間浦村の発展と新しい年が活気に溢れ、村民皆様のご健康でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



” 金 森 一 規
” 能 登 勝 彦
” 飯 田 さ つ き
” 蛸 島 巨

(議席順)

年頭挨拶



富岡 宏村長



杉山 太議長

令和4年第4回定例会（12月議会）は、12月6日から8日までの3日間の会期で開催され、条例改正等9件、補正予算5件の全議案を全会一致で可決しました。

12月定例会

条例案 全会一致可決

★職員給与に関する条例の一部を改正する条例

内容：青森県人事委員会の給与等に関する報告及び勧告に準じ、職員の給料月額、勤勉手当の支給割合を改定するもの。

★風間浦村特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例

内容：青森県の特別職給料の改正に準じて、特別職の職員の期末手当の支給割合を0・1月分引き上げるもの。

★議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

内容：青森県議会議員の期末手当支給条例の一部改正に準じて、議会議員の期末手当の支給割合を0・1月分引き上げるもの。

★風間浦村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

内容：村職員の給与に関する条例の一部改正に準じて、会計年度任用職員の給料月額を改定するもの。

★風間浦村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

内容：地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年年齢の引き上げ、管理監督職務上限年齢及び定年前再任用短時間勤務に係る規定を整備するもの。

★地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例

内容：地方公務員法の一部改正により、職員の定年年齢が引き上げられたこと等に伴う、関係する条例の整備を行うもの。

★風間浦村議会議員及び風間浦村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

内容：公職選挙法の一部改正に伴い、議会議員及び村長の選挙における選挙運動に関する公費負担経費を改正するもの。

★風間浦村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

内容：減少している消防団員の確保のため、定年制の廃止及び消防団員の年額報酬を国の基準に準じた額への改正を行うもの。

★風間浦村消防団員等弔慰に関する条例を廃止する条例

内容：下北地域広域行政事務組合の発足前に、村が独自で制定した条例であり、現在は補償等組合など他の制度で規定されているため廃止するもの。



補正予算案

全会一致可決

★令和4年度一般会計補正予算

内容：既定の歳入歳出予算に7千52万8千円を追加し、総額を30億4千267万7千円とする。

歳入の主なもの

- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費補助金
1千750万円の追加
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
1千438万7千円の追加
- ・ふるさと納税寄附金
200万円の追加
- ・地域活性化基金繰入金
1千300万円の追加

歳出の主なもの

- ・価格高騰緊急支援給付金
1千750万円の計上
- ・価格高騰緊急支援給付金対象外世帯向け商品券配布事業補助金
1千240万円の追加
- ・介護施設等物価高騰対策支援補助金
100万円の計上
- ・塵芥処理費における下北地域広域行政事務組合負担金（管理運営費）
1千327万7千円の追加
- ・消費税における下北地域広域行政事



議案の採決

- ・務組合負担金（分署費）
511万1千円の追加
- ・財政調整基金積立金
440万円の減額
- ・ふるさと応援基金積立金
200万円の追加

★令和4年度国民健康保険特別会計補正予算

内容：既定の歳入歳出予算に941万円を追加し、総額を2億8千423万4千円とする。

歳入の内容

- ・前年度繰越金
941万円の追加

歳出の主なもの

- ・財政調整基金積立金
920万円の追加
- ・特別調整交付金返還金
15万4千円の追加

★令和4年度簡易水道特別会計補正予算

内容：既定の歳入歳出予算に1千651万3千円を追加し、総額を1億8千46万5千円とする。

歳入の内容

- ・一般会計繰入金
541万3千円の追加
- ・簡易水道施設災害復旧事業債
1千110万円の追加

歳出の主なもの

- ・仮設急速ろ過機リース料
36万3千円の追加
- ・施事業繰出金
1千580万円の計上
- （R3年度災害事業に係る一般会計への戻し分）

12月定例会

★令和4年度介護保険特別会計補正予算

内容：既定の歳入歳出予算に92万8千円を追加し、総額を3億5千844万円とする。

歳入の主な内容

- ・現年度分地域支援事業交付金（国庫支出金）30万円の追加
- ・現年度分地域支援事業支援交付金（支払基金交付金）32万4千円の追加

歳出の主なもの

- ・介護予防サービス給付費120万円の追加
- ・予備費 28万1千円の減額

★令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算

内容：既定の歳入歳出予算から266万3千円を減額し、総額を2千987万8千円とする。

歳入の内容

- ・事務費繰入金 266万3千円の減額

歳出の主なもの

- ・後期高齢者医療保険料負担金 283万9千円の減額



令和4年第3回臨時会

令和4年9月29日、第3回臨時会が開会されました。

補正予算案

全会一致可決

☆令和4年度一般会計補正予算

内容：既定の歳入歳出予算に650万円を追加し、歳入歳出予算の総額を29億7千214万9千円とする。

歳入の内容

- ・公営住宅建設事業債 650万円の追加

歳出の内容

- ・新甲平ノ上団地建築工事請負費 700万円の追加
- ・予備費 50万円の減額



総務常任委員会

11月18日開催

（欠席委員1名）



嶋島 巨 委員長

会議開会后、村内工事の進捗状況等の視察調査を行った。
県代行業業で行っている村道古野・大川目線道路工事の進捗状況、易国間浄水場内の



易国間浄水場浄水棟



国道 279 号から旧下風呂小学校入口付近

浄水棟整備工事の竣工状況、下風呂浄水場災害復旧工事の進捗状況他2ヶ所を調査した。現場視察しての質疑・意見等については、今後開催されます委員会等における行政側への調査事項として審査を終了した。

12月7日開催

(欠席委員なし)

令和4年第4回定例会で本委員会に付託された議案14件について、担当課から説明を受け審査を行った。

【付託された議案】

- ① 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ② 風間浦村特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例
- ③ 議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- ④ 風間浦村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ⑤ 風間浦村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例
- ⑥ 地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例
- ⑦ 風間浦村議会議員及び風間浦村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
- ⑧ 風間浦村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例
- ⑨ 風間浦村消防団員等弔慰に関する条例を廃止する条例
- ⑩ 令和4年度風間浦村一般会計補正予算
- ⑪ 令和4年度風間浦村国民健康保険特別会計補正予算
- ⑫ 令和4年度風間浦村簡易水道特別会計補正予算
- ⑬ 令和4年度風間浦村介護保険特別会計補正予算
- ⑭ 令和4年度風間浦村後期高齢者医療特別会計補正予算

議案審査

○ 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

問 条例の主な改定内容は。

答 行政職給料表1級から5級までにおいて、一部の給料月額(号給)の改定である。

○ 風間浦村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

問 定年に関する経過措置の対象年齢は。

答 令和5年度において60歳到達者から対象である。

○ 一般会計補正予算

問 塵芥処理費の Northwest 地域広域行政事務組合負担金(管理運営費)の増額は。

答 ゴミ処理施設の電気料金及び LPG ガス料金の高騰によるものである。

問 水産振興費のモニタリング調査委託料の内容は。

答 昨年豪雨災害において、海に土砂が流出した箇所の漁場調査を行うものである。

○ 簡易水道特別会計補正予算

問 仮設急速ろ過機リース料の増額は。

答 下風呂浄水場災害復旧事業において設置している、急速ろ過機のリース期間延長によるものである。

審査の結果

付託された全14議案は、全会一致で可決された。



議会運営委員会

11月25日開催

(欠席委員なし)



中嶋 茂 委員長



議会運営委員会

令和4年第4回(12月)定例会の運営に関する事項について審査。

☆定例会は

定例会は、12月6日招集の意向を受け、提出となる案件等を勘案した結果、会期は、同日より8日までの3日間とした。

一般質問は、通告期限までに3名の通告があり受理された。

議事日程は、開会初日の6日は、会期の決定、提案理由の説明、議案等の付託、各委員長報告及び一般質問まで行い散会。

7日は休会とし、総務常任委員会を開催。

8日に本会議を再開し、議案等の審議を行う。なお、大間原子力

発電所対策特別委員会は、12月12日に開催。また、委員から下風呂温泉及び桑畑温泉の収支状況調査の意見があり、総務常任委員長と協議することとした。

☆議案等の審議は

報告事項、人事案件及び損害賠償の和解を除く議案を、総務常任委員会に付託して審査する。

☆人事案件の表決方法は

提案があった場合は、無記名投票で行う。

☆諮問は

受理された「風間浦村長、村議会議員選挙での選挙公報の発行に関する条例の制定を求める陳情書」1件について審査し、発行している町村の調査及び未発行町村の動向を注視することとし、資料配付とした。

全員協議会

11月29日開催

(欠席議員なし)



杉山 太 議長



全員協議会

協議案件

1. 風間浦村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正及び風間浦村消防団員等弔慰に関する条例の廃止について

風間浦村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正については、消防団員の処遇改善により、団長ほか各階級の年額報酬及び出勤手当を改正する。また、団員確保のため消防団員等の定年を廃止するものである。風間浦村消防団員等弔慰に関する条例の廃止については、この条例は、昭和38年に下北地域広域行政事務組合の発足前に

制定しており、現在、実施している内容と異なることから廃止するものである。

なお、条例一部改正等については、12月定例会に提案する。

問 協力団員の任期は、3年ごとの更新で良いか。

答 協力団員については、現在と同じく3年ごとの更新となる。

問 消防団員の退職報償金の取扱いに変更はあるのか。

答 退職報償金は今までとは変わらない。協力団員への退職慰労金についても同様である。

2. 新型コロナウイルス

又感染症対応地方創生臨時交付金追加配分について

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業において、原油価格・物価高

騰対策分として国から交付金が追加配分される。

価格高騰緊急支援給付金対象外の世帯への「商品券配布事業」。

介護事業者に対しての「介護施設等物価高騰対策支援補助事業」。

村社会福祉協議会のデイサービス等利用者の冷凍冷蔵庫等購入の「エネルギー価格高騰対策支援事業関係備品購入事業」の3事業を計画している。

総事業費は、1千572万5千円で、うち交付金は1千438万7千円の充当予定で、12月定例会において予算計上する。

問 冷凍冷蔵庫を購入する理由は。

答 2台のうち、1台が故障、もう一台は購入から25年が経過しているため更新するものである。

問 商品券の使用期限は。

答 令和5年2月末日までとなる。

3. 子育て世帯等臨時特別支援事業（価格高騰緊急支援給付金）について

コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面する生活支援対策として、住民税非課税世帯に対して1世帯あたり5万円を給付する。

事業費は、1千889万円で国からの交付金を全額充当する予定で、12月定例会に予算計上する。

問 対象は、子供がいる世帯だけなのか。

答 事業名は子育て世帯等であるが、対象は、子供がいるいないに係なく、住民税が非課税の世帯となる。

役場及び消防庁舎建設に係る特別委員会

11月29日開催

（欠席委員なし）



能登 勝彦 委員長

○庁舎等整備事業の進捗状況

令和4年10月末日現在における、庁舎等整備事業調査設計業務の進捗状況は、地形測量用地測量は作業済みで



役場及び消防庁舎建設に係る特別委員会

あるが、地質調査においては庁舎の配置が決定しだいたい実施する。

役場庁舎及び消防庁舎建物の基本設計については、令和4年9月に委託業務を発注し作業を進めている。

○庁舎等基本計画配置（案）

役場等管理職員で構成する風間浦村庁舎等建設検討幹事会において、協議した「基本計画配置案」の説明があり、本委員会では行政側から説明があつた基本計画配置②案で意見集約された。

問 災害時の駐車場スペースは。

答 役場庁舎前及び消防団の訓練スペースを活用する。

問 住民への事業進捗状況の周知は。

答 「広報かざまうら」を活用して周知する。

○令和4年度のスケジュール

令和4年度において計画の役場庁舎等整備事業調査設計業務、許認可業務、役場庁舎建設基本設計業務、消防庁舎建設基本設計業務、不動産鑑定評価業務は、全て発注済みで作業中である。

問 地質調査業務の地権者、近隣住民への説明会の内容は。

答 地質ボーリング調査の実施場所等についての説明である。



大間原子力発電所対策特別委員会

12月12日開催

(欠席委員なし)



金森 一規 委員長

電源開発(株)から

電源開発(株)大間原子力建設所より、倉田本部長他5名が出席し、新規制基準適合性審査の対応状況、運転差止等請求訴訟の審理状況について報告。



大間原子力発電所対策特別委員会

☆新規制基準適合性審査の対応状況

適合性審査の状況について、震源を特定して策定する地震動のうち、内陸地殻内地震のF14断層と奥尻三連動の評価方法の妥当性について説明したが継続審議となった。

11月7日には、原子力規制庁職員による発電所敷地内のシームS-11に関連する箇所の現地確認が行われた。

◇運転・差止等請求訴訟の審理状況

2件の訴訟の審理状況についての説明があり、会社としては、大間計画に支障がないように適切に対応していくと報告。

☆その他

工事再開後の工事従事者の増員に対応するため、既存の「潮風ハイツ(作業員宿舎)」周辺の拡張・整備について、地権者への説明

会を11月29日に開催した。地権者から土地への立入り承諾をいただき、その後用地測量を実施する予定。

社宅整備については、令和4年11月に地質調査を実施し、現在は結果の取りまとめ作業中であり、その結果を反映し設計に着手する。

問 作業員宿舎拡張に関係する地権者は何人で、説明会への出席状況は。

答 地権者は20〜30名で、説明会には11名が出席した。

行政側からの報告

☆大間原発三ヶ町村協議会県知事要望活動の報告

11月4日、大間町、風間浦村、佐井村で構成する大間原発三ヶ町村協議会の県知事要望が、青森県庁南棟2階第3応接室で行われ、

当村からは富岡村長、杉山村議会議長、金森原特委員長が出席した。

むつ市大畑町までの国道279号のバイパスの早期着工などを要望した。



大間原発三ヶ町村協議会県知事要望(県庁内)

村政を問う！ 一般質問

一般質問とは、定例会（臨時会は除く。）において、議員が、あらかじめ通告して、村の施策の方針について、報告・説明を求めたり質問することです。

当村議会においては、一般質問者の持ち時間は1時間以内に制限されています。

今期定例会では、3名の議員が登壇しました。



金森 一規 議員

1. 今後の風間浦村財政運営は 2. 災害時における避難対策は

○今後の風間浦村財政運営

Q 今現在の計画事業の財源として借入する起債の償還ピークは。

A 村長 償還のピークは、令和9年度から令和12年度あたりが元利償還金のピークとなり、金額は4億円前後を見込んでいます。

Q 起債の償還計画は。

A 村長 風間浦小学校建設に係る過疎債の償還は令和9年度で終了となることから、庁舎等建設に係る地方債の元金償還とは重ならない見込みである。下風呂温泉整備事業に係る過疎債の償還は令和15年度で終了する。

Q 計画事業の財源は。

A 村長 役場庁舎・消防庁舎建設事業で充当する地方債は、緊急防災・減災事業債で償還期間は最大で30年間。消防庁舎で消防団が活用する部分には、過疎債の充当を検討している。過疎債の償還期間は、12年間。

Q 人口減少により地方交付税の減額が予想される中、新たな財源を確保するための施策は。

A 村長 自主財源の確保は最重要課題であり、引き続き国や県の補助制度の情報収集に努め、財源確保と健全な財政運営に努める。

○災害時における避難対策

Q 個別避難計画の策定状況は。

A 村長 計画の策定は進んでいないが、自治会や社会福祉協議会などの関係機関と連携を図りながら個別避難計画の策定を進めたい。

Q 災害時の避難に支援が必要な方の名簿等を適宜更新し、関係者と情報を共有しているか。

A 村長 災害時避難行動要支援者名簿は作成済みであり毎年更新している。巨大地震による津波災害等に対応した避難行動の重要性は非常に高まっているので、関係機関と連携を進めていきたい。

Q 北朝鮮からミサイルが発射され、Jアラートのサイレンが鳴った場合、村民はどのような行動をとれば良いのか。

A 村長 屋外にいる場合は、近くの建物に逃げる。または構造物等の物陰に身を隠し頭を守り低い姿勢で待機する。屋内にいる場合は、可能な限り窓から離れた場所に避難する。広報誌等を活用して住民に周知したいと考えている。



北館 智明 議員

1. 村の地域活性化ビジョンは

○村の地域活性化ビジョン

Q 人口減少による少子高齢化対策は。

A 少子化対策は、妊婦・乳児検診や新生児聴覚健診の無料化などの継続により、村内で安心して子供を産み育てる環境を整えることを目指す。

村長 高齢化対策は、老人の憩いの場の提供など、住み慣れた家庭や地域において健康で生き生きとした生活を過ごせるような事業の展開を目指す。

Q 若者が働ける場の確保、雇用対策は。

A 村長 コロナ禍で急増している県外企業のサテライトオフィスの誘致や施設の空きスペースを活用するワーケーション等の企業誘致に努めたい。また、通勤圏内の雇用の拡大も視野に入れながら、国、県、近隣市町村とも連携していきたい。

Q 移住、定住を促進させるための住宅対策は。

A 村長 空き家の活用が難しい状況において、青森県住生活基本計画を参考に、定住促進住宅等の整備のほか、住宅用地の確保・分譲を検討しながら、森林資源の活用や建設業の育成につなげていきたい。

一般質問

Q 磯漁場の復活による漁業振興対策は。

A 村長 磯焼け現象は、全国的なもので自然的要因が大きく影響しているものと思われるが、全国各地の成功事例などの情報収集に努めるほか、令和3年8月の豪雨災害で被害を受けた漁場の再生も含め、漁協と協議しながら当村の漁場に合う対策を検討、試行、検証していく。



下風呂・焼山周辺



蛸島 巨 議員

1. 人口減少のこれからの課題は
2. 風間浦村の教育は

○人口減少のこれからの課題

Q 国道のバイパス整備により、地域が衰退していくことが予想されるが、村としてその対策は考えているのか。

A 村長 当村の交流人口の大半は下風呂温泉への宿泊者なので、観光面での影響は少ないものと想定しているが、バイパス整備については命の道であり、安全性を第一に観光面でも交流人口対策に考慮しながら進めるようお願いしている。

Q 人口減少による商工事業者の後継者問題は。

A 村長 年度内に事業継承のニーズや可能性について調査し、当村の問題点を洗い出し改善策及び方向性を見出していく。



多目的グラウンド

○風間浦村の教育

Q 風間浦村の子供達の将来を考えた新しい活動は。

A 教育長 第2期風間浦村教育大綱に示した、新しい教育の柱である学校教育、生涯学習など各重点事項を通して、子供達だけでなく村民一人一人が郷土の歴史と風土を受け継ぎ、生涯にわたって学び続けられるよう努めたい。

Q 中学校の部活の指導に関する民間移行への対応は。

A 教育長 今年度より、移行に向けた検討を学校、各団体、地域、外部委託などを含め、県が示す令和7年度末までには地域移行できるように進めたい。

Q 高校生に対する村独自の手当支給の考えは。

A 教育長 高校生までの医療費無償化や奨学資金貸与制度など就学支援を行っているが、独自の手当支給については、国・県の支援策、各自治体などの取組を踏まえながら慎重に検討しなければならぬと考えている。



風間浦村教育大綱

美浜原子力発電所視察・
学校法人同志社訪問

10月17～19日

10月17日、交流30周年となる学校法人同志社を訪問しました。

八田英二学校法人同志社総長・理事長より、歓迎のあいさつを受け、同志社大学今出川キャンパス内を視察しました。



同志社礼拝堂 (チャペル)

10月18日、関西電力美浜原子力発電所と原子力緊急時支援研修センター福井支所を視察しました。

美浜原子力発電所は、1号機、2号機が廃炉を決定し、平成27年4月に運転を停止、



美浜原子力 P R センター

現在は解体作業に着手しており、3号機は、原子力規制委員会の審査を経て、新規制基準対応工事を約3年かけて完了し、令和4年9月に本格運転が再開されております。

PRセンターでの概要説明後、嚴重チェックを受け、バスで3号機の原子炉敷地内に入り、新規制基準対応工事で実施した竜巻対

策、防潮堤等の設置状況を確認しました。

営業運転から46年が経過している3号機について、運転期間が満了となった場合における今後の計画について質問をしたが、会社からは未定との回答がありました。

原子力緊急時支援研修センター福井支所は、原子力防災に係る職員の研修や訓練を行う施設で、国内では茨城県と福井県の2ヶ所に設置されています。また、緊急時においては支援活動を行い、東日本大震災では福島県に専門職員の派遣や資機材の提供を行っております。

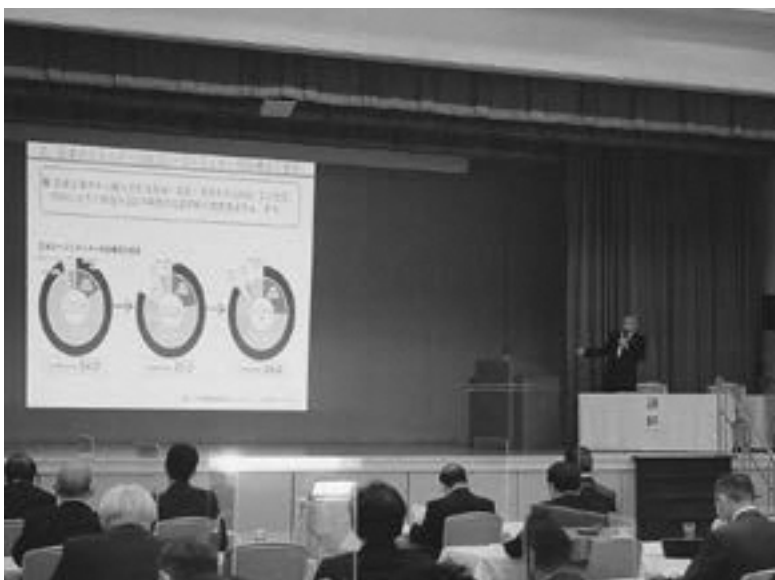
センターでは、全国23ヶ所のオフサイトセンターとの情報共有及び中央官庁などとの連携システムの説明を受けました。

下北郡町村議会議員・事務局
職員研修会

11月2日

11月2日、むつグランドホテルにおいて、下北郡町村議会議員・事務局職員研修会が開催されました。

研修会では、講師に東北エネルギー懇談会



下北郡議会議員研修会

鶴田真孝会長を招き、『今「エネルギーのあり方を考える」と題し、カーボンニュートラルとエネルギー安全保障の両立に向けての講演を受けました。』



国土交通省道路局への要望

11月15日、青森県が国土交通省に対し「防災・減災、国土強靱化等に必要予算総額の確保に関する要望活動」を行いました。要望活動の中で、国土交通省道路局への『広域避難路・国道279号バイパス化事業への予算要望』には、富岡村長、杉山村議会議長も同席しました。

国土交通省への
要望活動
11月15日



要望事項を述べる杉山議長

11月16日、青森県町村議会議長会主催の「知事を囲む行政懇談会」が、青森市のホテル青森で開催され、県内の各郡町村議会議長の代表者が、三村青森県知事へ要望しました。下北郡町村議会議長会からは、杉山議長が代表して『国道279号代替え道路の早期実現について』要望しました。

知事を囲む行政
懇談会
11月16日

【令和4年：議会活動報告】

(1) 定例会及び臨時会の開催状況

※休会日には、委員会等を開催しております。

区分	会期	会期日数	審議日数	休会日	繰上日数	傍聴者数
第1回定例会	3月 8日～14日	7日	2日	5日	—	5人
第2回定例会	6月 8日～ 9日	2日	2日	—	—	4人
第3回定例会	9月 7日～12日	6日	2日	4日	—	3人
第4回定例会	12月 6日～ 8日	3日	2日	1日	—	3人
第1回臨時会	1月28日	1日	1日	—	—	0人
第2回臨時会	2月18日	1日	1日	—	—	0人
第3回臨時会	9月29日	1日	1日	—	—	0人

(2) 審議件数等

区分	村長提出					議員提出			
	条例	予算・算	人事	専決処 分報	その他	意見書	選挙	委員会 告報	
定例会	16	30	2	7	3	0	1	19	
臨時会	0	4	0	2	1	0	0	0	
計	16	34	2	9	4	0	1	19	
審議方法	本会議即決	1	4	2	9	3	0	1	19
	委員会付託	15	30	0	0	1	0	0	0

(3) 一般質問の状況 (カッコ内は、令和3年の状況)

区分	質問者数	内容件数
第1回定例会	4人 (4人)	5件 (6件)
第2回定例会	1人 (3人)	3件 (5件)
第3回定例会	3人 (1人)	5件 (2件)
第4回定例会	3人 (3人)	5件 (6件)
計	11人 (11人)	18件 (19件)

(4) 委員会開催状況

議会運営委員会	5日
総務常任委員会	5日
議会広報編集委員会	8日
大間原子力発電所対策特別委員会	4日
役場及び消防庁舎建設に係る特別委員会	5日
予算審査特別委員会	1日
全員協議会	5日

【ちょっと一言】



駒嶺敏昭 村消防団長

令和4年9月13日、風間浦村消防団が令和4年防災功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）を受賞しました。今回の「ちょっと一言」は、駒嶺敏昭 風間浦村消防団長からお話を伺いました。

駒嶺団長は、「この表彰は、令和3年豪雨災害での復旧活動に対しての功績が認められたものであり、これは風間浦村消防団員や地域の方々からの協力があり迅速に活動ができたものである。また、むつ下北管内の消防団からの支援もあり、やり遂げることができた。本当に皆さんに感謝したい。」と仰っていました。

他にも、国道のバイパス化や消防団員の確保、災害時における行政・地域・消防団の関わりについて述べていました。（文：能登）



岸田文雄 内閣総理大臣から表彰される駒嶺団長（内閣総理大臣官邸）

編集後記

明けましておめでとうございませう。

まだまだ続く、電気、ガス、食料、日用品等の値上げ、そして長引くコロナ禍により、日々の生活に大きな影響を及ぼしています。が、新しく迎えた年が村民の皆様にとって良い年でありませうようお祈りいたしませう。

今後もコロナ予防を一層心掛けて実施しませう。

（文：飯田）

議会広報編集委員会

委員長 飯田さつき

副委員長 蛸島 巨

委員 北館 智明

能登 勝彦

中嶋 茂

傍聴
しましょう！

